

創造・参加・実践

JR西労組ひろしま

西日本旅客鉄道労働組合
 広島地方本部
 発行責任者 守田 丸平
 編集責任者 小尻 紘士

広島市東区上大須賀町16-1
 新幹線西高架下 3F
 J R (081)2473
 NTT (261)6614

No.392

2021年3月1日

第三十回地本委員会を開催！

全組合員の総団結でこの難局を乗り越え、安全を基礎に未来を切り拓こう！

広島地本は、二月二十七日（土）ワークピア広島（広島市南区）において、第三十回地本委員会を開催しました。新型コロナウイルスの感染被害拡大防止のため、傍聴者無しの規模縮小及び全員がマスクを着用しての委員会となりました。来賓として、中央本部より上村委員長及び松原副委員長、福本企画部長、新幹線協議会より高橋事務局長が出席されました。委員会では、八名の委員から発言を受け、安全の確立に向けた取組みや二〇二二春闘の具体的な行動について満場一致で承認されました。

委員会は、池田副委員長の開会あいさつで始まり、委員四十名中三十五名の出席により委員会成立を確認した後、議長に西村委員（支部）を選出し、議事を進行しました。

委員会の主な議事は、①主な運動の総括（一）安全確立に向けた取り組み（二）新型コロナウイルスへの対応について（三）年間臨給の見直しについて（四）二〇二〇年総合労働協約改訂・業務課題への取り組み（五）組織の拡大と充実、強化の取組み②当面する活動方針、（二）私たちが取り巻く情勢（二）具体的な取り組み方針について石松書記長より報告



告その後の質疑・応答では、八名の委員から発言を受け真摯な議論が交わされ活動方針などの提起事案について、満場一致の拍手で承認されました。そして最後に、守田委員長の団結ガンバローで委員会は閉会しました。



（右）委員会宣言を読み上げる本青年女性委員長
 （左）進行を行う西村議長

守田委員長

挨拶（要旨）



○安全の確立について

福知山線列車事故から十六年が経過し、伯備線触車事故から十五年が経過しました。この間の取り組みにより安全性は著実に伸びてきています。しかし、昨年十二月三十日に山口線において走行中にドアが開く事象が発生

し、運輸安全委員会から「重大インシデント」に認定されました。今後原因究明及び対策が実施されますが、お客様にお怪我がなかったことは不幸中の幸いです。今後、一歩一歩安全対策を作り上げていきます。

○二一春闘について

昨年の春闘で年間臨給の五、三八カ月で妥結したにも関わらず、期末手当を一、五カ月としたことについて地方本部を預かる者としてお詫び申し上げます。JR西日本は第3四半期決算を発表しました。第3四半期はG・T・Oキャンペーン等により回復傾向でしたが、最終赤字が一六・一八億円となりま

した。このような状況の中で二〇二一春闘は過去に例を見ない厳しい戦いとなりますが、我々の生活を守るために今春闘では要求満額獲得を必ず勝ち取らなければなりません。JR西労組中央委員会が決定した「定期昇給の実施、年間臨給三・五カ月」を柱とする方針を支持し、分会の中で組合員の想いを議論し、頑張りのエールを送って頂きたいと思えます。

○政治活動について

二月二十二日に組織内議員である柿本広島県議会議員が一般質問に立ち、各分野においての発言がありました。その中で我々の代弁者と

して、公共交通サービス関係の三点について質問し、広島県の考え方を引き出しました。このように我々の代表が議員となって活躍されることはとても頼もしい限りであり、今後も我々の要求実現のために頑張ってください。

河合案里参議院議員の辞職に伴う参議院広島県選出議員再選挙が四月八日告示、四月二十五日投票が実施されます。政治は我々の生活基盤を支えるのに重要です。具体的に、組合員に多大なご協力をお願いした「JR産業に関する緊急政策課題の解決を求める署名」は、雇用調整助成金の特例措置の延長決定に大きく貢献

しました。今回の選挙は我々にとつては重要な戦いです。自民党候補を倒し、野党統一候補が勝利するために活動を行っていきます。

○今後の組合活動について
 新型コロナウイルスは組合活動にも大きな影響を与えました。多くの活動が自粛となり、今までの当たり前前の活動が出来ない状態となりました。その中で組合役員と一生懸命現場で働いている組合員とのコミュニケーションが取れていないこともあったと思います。労働組合にとつて役員と組合員のコミュニケーションは極めて重要です。現在の

のような状況下では大きな集会では無くミニ集会を重ねて組合員の切実な声を拾い上げると共に、アンテナを高くして、フットワークの良い活動を展開しなければならぬと感じています。新しい時代の変化を敏感に感じ、それらに合った活動を行うことにより信頼関係が生まれてくるものと考えています。本日は具体的な提起を行い、具体的な提起を行って行きたいと考えています。